



# 第4回LCA日本フォーラム表彰 募集要項

- 2007年7月 -

主催 LCA日本フォーラム  
後援 経済産業省

運営事務局 (社)産業環境管理協会

## はじめに

1993年、ISO/TC207(環境マネジメント)が発足し、LCAの国際標準化検討が開始され、我が国においても製品の環境影響を定量的に評価する有力な手法としてLCAが注目をされるようになりました。1995年に、わが国におけるLCAの在り方を総合的に検討する場として、産官学の有識者多数によるLCA日本フォーラムが設立され、1997年、日本におけるLCAのあるべき姿と各セクターの取り組みをとりまとめた「LCA日本フォーラム報告書」を公表し、LCAデータベースの構築とLCA手法開発の必要性を提言致しました。翌1998年には、本提言に対応した経済産業省主管の「第1期LCAプロジェクト」がスタートし、2003年3月には、わが国で共通使用できるLCAデータベースが構築されると共に、環境影響評価手法(LIME)が開発されました。

LCA日本フォーラムは平成16年度より、LCAプロジェクト成果のデータベース運営・管理を主体として、LCA手法の普及活動の活発化を目的に、新たにLCA日本フォーラム表彰制度を創設・発足させ、LCAに関する優れた取り組みを顕彰しております。LCAの活動について社会的意識を一段と普及・定着させることを目的として今年度も引き続き第4回LCA日本フォーラム表彰を実施いたしますので、皆様の積極的なご応募をお待ちいたしております。

平成19年7月  
LCA日本フォーラム  
会長 茅 陽一

# 平成19年度 LCA日本フォーラム表彰応募要項

## 1. 目的

LCA日本フォーラム会員等のLCAに係わる優れた活動および取り組みをはじめ、LCA日本フォーラムの活動・発展に貢献した者を表彰することにより、LCA手法を広く普及・定着させ、同時にLCA日本フォーラムの活動を活発化させることを目的とする。

## 2. 表彰部門および対象

本表彰は、以下の4部門とし、LCA手法に基づく活動や取り組みを対象とします。

### (1) 製品開発・生産活動活用部門

平成16年～平成19年迄の約3年間に公表され、その成果等が現われているLCAを活用した製品開発活動および生産活動(例えば以下のような視点などが評価できる活動)

- ・企業活動並びに製品開発・生産活動にLCA手法が組み込まれ活用されている。
- ・LCA専門の人又は組織が整備され定量的な環境負荷の改善効果が現れている。
- ・LCAの結果を広く公表しユーザに提供している。
- ・自社・他社問わず、LCAのデータや情報を用い、工場管理・製品開発活動等に活用している。
- ・他者のLCA活動にデータ提供等、積極的に協力している。

なお、本活動における受賞候補者の選出は、会社規模による不利益回避のため、応募者の所属組織を大企業とその他に分け実施するものとする。

### (2) 普及・啓発・教育部門

平成16年～平成19年迄の約3年間に実施された、LCAの普及・啓発・教育等に関わる社会活動(例えば以下のような活動)

- ・地域や企業等へのLCAの普及・啓発を目的としたもの。
- ・組織内におけるLCAの普及・啓発を目的としたもの。
- ・LCA教育を含む環境教育を目的としたもの。

### (3) 研究部門

平成16年～平成19年迄の約3年間に公表され、その成果が現われているLCAに関連する研究活動(例えば以下のような視点などが評価できる活動。必ずしも学術的な活動である必要はありません。)

- ・研究の成果が具体的に実践されている。
- ・持続可能な環境社会の醸成に資する。
- ・LCAの普及および実践に資する。

なお、本活動における受賞候補者の選出は、応募者の所属組織を民間企業および公的機関に分けて実施するものとする。

### (4) 功労賞

- ・LCA日本フォーラムの発展に対して顕著な貢献があった者。

### 3. 受賞候補者

企業、団体、研究機関等の組織又は個人の何れかで、特に制約はありません。組織の取り組みや活動も受賞対象となります。応募形態は、自薦、他薦を問いません。

### 4. 表彰の方法

#### ・経済産業省産業技術環境局長賞 :

前項2の(1)～(3)の産業界の活動において、各分野で優れていると認められ選出された活動のうち、特に優れているものとし、経済産業省産業技術環境局長賞として賞状と副賞をもって顕彰する。(1件)

#### ・LCA日本フォーラム会長賞 :

前項2の(1)～(3)の活動において、各分野で優れていると認められ選出された活動のうち、特に優れているものとし、賞状と副賞をもって顕彰する。(1件)

#### ・LCA日本フォーラム奨励賞 :

前項2の(1)～(3)の活動において各分野で優れていると認められ選出された活動のうち、LCA日本フォーラム会長賞ならびに特別賞受賞以外のものとし、賞状と副賞をもって顕彰する。なお、優れた活動を広く顕彰するため表彰件数は特に定めないものとする。

#### ・LCA日本フォーラム功労賞 :

前項2の(4)において、特にその功績が大きいと認められた個人とし、賞状と副賞をもって顕彰する。(1名)

### 5. 募集の方法

公募によるものとし、団体、企業、個人による推薦または本人の申請による。

### 6. 提出書類

推薦者または申請者は、所定の推薦・申請書に内容を記載し提出するものとする。

#### (1) 申請書

申請1件につき正1部を提出してください。

#### (2) 申請書の電子ファイル

申請書の電子ファイルをCD-RまたはCD-ROM等で1枚を提出してください。

( 推薦書の電子ファイルの推薦者印は不要。 )

#### (3) 表彰対象となる研究、活動または実績が記載されている資料。

(論文、環境報告書、特許など)

なお、ご提出いただいた書類は返却いたしません。

### 7. 守秘義務

申請書類で知り得た情報については、当該表彰制度の審査以外に利用及び公開はいたしません。表彰対象者公表の際は、申請書の「表彰対象者情報記入欄(表彰用)」の情報を使用します。

## 8. 応募期間

平成19年7月9日(月)から9月10日(月)

## 9. 書類の提出先(郵送)

LCA日本フォーラム事務局

社団法人産業環境管理協会 LCA開発推進室

〒110-0044 東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号

TEL:03(5209)7708、FAX:03(5209)7716、E-mail: [jlca@jemai.or.jp](mailto:jlca@jemai.or.jp)

## 10. 発表・表彰

受賞者発表は11月に、ニュースリリース及びLCA日本フォーラムホームページにて行い、各受賞者に通知する。また表彰は、平成19年12月に開催されるエコプロダクツ展で施行する。

(併せて同展主催者企画シンポジウムでの講演を予定。)

### 【 審査要項 】

#### 1. 審査委員会

学識経験者等の有識者で構成するLCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ(WG)およびLCA日本フォーラム表彰選考委員会を設置する。

#### 2. 審査期間

平成19年9月～10月末

第1次審査 : LCA日本フォーラム表彰選考WGにて、所定の申請書類及び補足資料による事前審査を実施する。

最終審査 : LCA日本フォーラム表彰選考委員会にて審査・検討を行い局長賞、会長賞、奨励賞、功労賞を決定する。

#### LCA日本フォーラム表彰選考委員会

(敬称略)

	氏名	所属
委員長	石谷 久	慶応義塾大学大学院 教授
副委員長	吉川 廣和	DOWA ホールディング㈱代表取締役会長・CEO
副委員長	山本 良一	東京大学 教授
委員	足立 芳寛	東京大学大学院 教授
委員	内山 洋司	筑波大学大学院 教授
委員	岩間 芳仁	日本経済団体連合会 産業第三本部長
委員	君塚 秀喜	経済産業省 環境調和産業推進室 室長
委員	指宿 堯嗣	社団法人 産業環境管理協会 常務理事

## 「第4回LCA日本フォーラム表彰」受賞候補者推薦・申請書

申請日： 年 月 日

推薦者記入欄(この欄は応募者本人による申請の場合は記載不要です) < 様式1 >	
推薦者氏名・印	
所属組織名	
役職名	
電話番号	
電子メールアドレス	
所在地	〒

申請日： 年 月 日

応募者記入欄 < 様式2 >	
<b>1. 応募者情報記入欄 ( 連絡用 )</b>	
氏名	
所属組織名	
役職名	
所属組織所在地	〒
電話番号	
電子メールアドレス	
<b>2. 表彰対象者情報記入欄 ( 表彰用 )</b>	
表彰を受ける組織の名称 ( 表彰の際に使用します )	
組織の代表者氏名・役職	
応募する活動の分類 ( 該当に )	1 LCAを活用した製品開発活動 2 LCAの普及・啓発・教育等に関わる社会活動 3 LCAに関連する研究活動 4 LCA日本フォーラムの発展への貢献
表彰を受ける活動の名称 ( 表彰の際に使用します )	
表彰を受ける活動の概要 ( 受賞活動の紹介で使用します )  400字以内厳守	

**参考資料リスト (提出する参考資料情報をご記入ください)**  
( 参考資料がない場合は記入不要です )

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

上記で足りなければ、行を追加してください。

## 表彰の対象となる活動の概要

( LCAを活用した製品開発活動および生産活動 )

受賞対象の題目 :		
概要	様式2に記載の同一内容を記入	
分類	組織の規模は?( 該当に ) 大企業とは資本金が3億円超で従業員数300人超の企業	1. 大企業 2. その他
体制	LCA専門の人又は組織が整備されていますか? ( 該当に )	1. ある 2. ない
実践	LCAを展開する体制は? ( 該当に / 複数選択可 ) (実態が分かるような資料を参考資料に添付願います)	1. 社内関係部門と効率的データ運用を行っている 2. 社外との効率的データ運用もしくは共有を行っている 3. 関連企業のLCA支援を行っている
	LCAの導入でどのような環境負荷の低減を目指しますか? ( 例:製品の製造工程におけるCO <sub>2</sub> の排出量 )	
	製品開発活動にLCA手法が組み込まれていますか? ( 該当に )	1. はい 2. いいえ
	生産活動にLCAを活用していますか? ( 該当に )	1. はい 2. いいえ
	いつから製品開発にLCAを組み込んでいますか?(製品種類不問)	年より製品開発に組込んでいる
	いつから生産活動にLCAを活用していますか?(製品種類不問)	年より生産活動に活用している
	上記の活動を通して生産される主要な製品は?( 例:液晶テレビ) その生産量は?( 例:t/年、台/年など )	/年
成果	LCAの導入による環境負荷の低減効果はありましたか? ( 該当に はいと答えた場合、次の設問にもお答えください)	1. はい 2. いいえ 3. わからない
	LCAの導入で低減できた環境負荷の削減率をご記入下さい。 (ここに記載する製品の詳細データを参考資料として添付願います*) *この製品は必ずしも上記「主要な製品」と一致する必要はありません。	CO <sub>2</sub> を年間約 %削減 廃棄物を年間約 %削減 資源消費を年間約 %削減 水を年間約 %削減 その他( )年間約 %削減
	LCAの導入は企業の環境イメージ向上につながりましたか? ( 該当に はいと答えた場合、具体例を40字程度で簡単に説明) (具体例を記入)	1. はい 2. いいえ 3. わからない
	LCAの導入は製品の差別化につながりましたか? ( 該当に はいと答えた場合、具体例を40字程度で簡単に説明) (具体例を記入)	1. はい 2. いいえ 3. わからない
PR	LCA結果の公表方法は? ( 該当に / 複数選択可 )	1. 環境報告書 2. 広告・新聞等 3. 環境ラベル 4. HP 5. 学会発表 6. その他(カタログなど)

## 表彰の対象となる活動の詳細(合計1000字以内厳守)

前記設問の記載と対応がとれるよう以下の項目に対して簡潔に記載ください。

活動目的を簡潔にご記入ください。

活動内容を簡潔にご説明ください。

LCA実践に対する評価の考え方と成果を簡潔にご記入ください。

( 社会的意義、強調すべき事項、アピールなど )

## 表彰の対象となる活動の概要

( LCAの普及・啓発・教育等に関わる社会活動 )

受賞対象の題目 :		
概要	様式2に記載の同一内容を記入	
分類	組織の分類は？ ( 該当に ) 大企業とは資本金が3億円超で従業員数300人超の企業)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大企業</li> <li>2. その他の企業</li> <li>3. 公的機関</li> <li>4. 大学等教育機関</li> <li>5. その他</li> </ol>
体制	専門の指導者はいますか？ ( 該当に )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はい</li> <li>2. いいえ</li> </ol>
	普及・啓発・教育体制の形態は？ ( 該当に / 複数選択可 )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セミナー、講演会を実施</li> <li>2. 研修会、講習会を実施</li> <li>3. 勉強会、研究会を実施</li> <li>4. 教育プログラムに組み込み</li> <li>5. その他( )</li> </ol>
	上記の指導者の所属は？ ( 該当に / 複数選択可 )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社内</li> <li>2. 社外</li> <li>3. 両方</li> <li>4. その他</li> </ol>
	教材の整備状況は？ ( 該当に / 重複選択可 )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 独自品</li> <li>2. 市販品</li> <li>3. 両方</li> <li>4. その他</li> <li>5. なし</li> </ol>
実践	活動の年平均開催回数及び参加人数は？( 例:回/年 )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. セミナー、講演会 人/回、 回/年</li> <li>2. 研修会、講習会 人/回、 回/年</li> <li>3. 勉強会、研究会 人/回、 回/年</li> <li>4. 教育プログラム 人/回、 回/年</li> <li>5. その他 人/回、 回/年</li> </ol>
	活動の継続実績は？	年 ~ 年
	活動のための出版物等を作成していますか？ ( 該当に )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はい</li> <li>2. いいえ</li> </ol>
成果	活動の結果LCAの活用もしくは理解が促進されましたか？ ( 該当に 1.はいと答えた場合、具体例を40字程度で簡単に説明))	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はい</li> <li>2. いいえ</li> <li>3. わからない</li> </ol>
	(具体例)	
PR	今後も活動を継続してほしいという要望はありますか？ ( 該当に )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はい</li> <li>2. いいえ</li> </ol>
	活動の成果の公表方法は？ ( 該当に / 複数選択可 )	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境報告書もしくは会報等</li> <li>2. 広告・新聞</li> <li>3. HP</li> <li>4. その他</li> <li>5. 公表していない</li> </ol>

**表彰の対象となる活動の詳細(合計1000字以内厳守)**

前記設問の記載と対応がとれるよう簡潔に記載ください。

**普及・啓発・教育活動の内容を簡潔にご記入ください。**

**普及・啓発・教育活動の具体的な成果を簡潔にご説明ください。**

**その他アピールなどあればご記入ください。**

## 表彰の対象となる活動の概要

( LCAに関する研究活動 )

受賞対象の題目 :		
概要	様式2に記載の同一内容を記入	
分類	組織の分類は？ ( 該当に ) 大企業とは資本金が3億円超で従業員数 300 人超の企業	1.民間の大企業 2.その他の民間企業 3.公的機関 4.大学等教育機関 5.その他
成果	研究活動の先進性を簡潔にご記載ください(250字以内)	
	研究活動の成果の社会への実践可能性を簡潔にご記載ください(250字以内)	
	研究活動の成果の社会への適用性を簡潔にご記載ください(250字以内)	
	研究活動の成果の社会への普及度を簡潔にご記載ください(250字以内)	
実践	研究活動の成果の実践状況は？ ( 該当に )	1. 実践中/済み 2. 計画中 3. 検討中 4. なし
PR	研究活動の成果の公表方法は？ ( 該当に / 複数選択可 )	1. 環境報告書もしくは会報等 2. 広告・新聞 3. 環境ラベル 4. HP 5. 学会発表, 6. その他

## 表彰の対象となる活動の詳細(合計1000字以内厳守)

前記設問の記載と対応がとれるよう簡潔に記載ください。

研究活動の概要を以下の項目に沿って簡潔にご記入ください。

1. 背景	
2. 目的	
3. 手段	
4. 成果	
<b>表彰等の経歴(対象:平成16年～平成19年)</b> (実績のある場合のみご記載ください)	
年	
年	
年	
年	
年	
その他アピール等があればご記載ください	

## 表彰の対象となる活動の概要(合計1000字以内厳守)

( LCA日本フォーラムの発展への貢献 )

これまでの活動を簡潔にご記入ください

JLCAの発足に携わった。 ( 該当に )	1. はい 2. いいえ
JLCAの会員であった。 ( 該当に )	1. はい 2. いいえ
LCAプロジェクトへの参画。 ( 該当に / 複数選択可 )	1. 第1期LCAプロジェクト 2. 第2期LCAプロジェクト 3. 参画していない
LCAデータベースの構築・提供に携わった。 ( 該当に )	1. はい 2. いいえ
JLCA運営活動への参画。( 複数選択可 ) ( 該当に / 複数選択可 )	1. 各種委員会活動 2. セミナー等のLCA普及活動 3. LCA日本フォーラム表彰 4. 広報活動(出版・ニュースター) 5. その他